

委託事業実施内容報告書

平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【地域日本語教育実践プログラム(B)】

受託団体名 特定非営利活動法人 フロンティアとよはし

1. 事業名称 地域防災力アップのための外国人市民を対象とした防災意識啓発事業

2. 事業の目的

豊橋市内の外国人集住地区で外国人が参加できる防災用語・地震情報の文章などを学ぶための日本語教室や日本に多い「地震・津波・台風」などに対し、もともと住んでいた国での被災経験の少ない外国人市民に対して防災訓練や防災講習会を実施する。また、この事業を通して情報提供、防災教育を行うことで、外国人市民の防災意識を高めるとともに暮らす住民として日本人市民との「顔の見える関係」作りを行うことを目的とする。さらに、「顔の見える関係」作りと同時に、自治会や自主防災会の機能や役割を日本人・外国人がともに理解をし、訓練講習会の参加だけでなく自治会や自主防災会の活動にも積極的に参加するように促すことにより、地域の人的資源の掘り起こしと地域力の向上を図ることを目的とする。

3. 事業内容の概要

・防災意識啓発のための日本語教室

「やさしい日本語」で表現された防災用語・災害情報・備え方などをバイリンガルの講師から母語で説明を受け、特殊な日本語やフレーズを学ぶ。

・防災訓練

自治会主導でおこなう訓練に日本人とともに参加する。訓練は日本語とポルトガル語・スペイン語などの母語の双方で周知、実践する。日本人住民と外国人住民が顔の見える関係作りの場となり、実施後も交流を図れるような訓練内容とする

・防災講習会

集合住宅に住む日本人とともに豊橋市内で実施されているさまざまな防災活動について知り、各地域にあった防災に関する必要な知識、救命救急法やなどについての講習を受ける。講習会には通訳や翻訳資料を置き、それぞれの母語で学べるように配慮する。また、外国人集住地区自治会での取り組みの紹介を行う。

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年 6月14日 (土) 14:00～ 15:00	1時間	県営王ヶ崎 住宅集会所	奥平 原田 村上 小池 花井 寺田 河村	今年度の文化庁委託事業「地域防災力アップのための外国人市民を対象とした防災意識啓発事業」について	委員紹介 受託事業の説明 (実施内容・スケジュール 等)
2	平成26年 9月14日 (日) 14:00～ 15:00	1時間	多米中町2区 集会所	藤江(奥平代理) 原 田 村上 小池 徳永 花井 河村	日本語教室の実施状況について 10月実施予定の防災訓練について	日本語教室の経過報告 防災訓練の実施内容・スケ ジュール 告知方法等の確認
3	平成26年 11月29日 (日) 19:00～ 20:30	1.5時間	県営王ヶ崎 住宅集会所	藤江(奥平代理) 村 上 小池 花井 寺田 河村	日本語教室の実施状況について 12月・1月実施予定の防災訓練について 1月実施予定の防災講演会について	日本語教室の経過報告 防災訓練・防災講演会の実 施内容 スケジュール、告知方法等 の確認
4	平成27年 1月10日 (土) 19:00～ 20:00	1時間	県営王ヶ崎 住宅集会所	藤江(奥平代理) 原 田 村上 小池 徳永 花井 河村	日本語教室の実施状況について 1月・2月実施予定の防災訓練・防災講演会について	日本語教室の経過報告 防災訓練・防災講演会の実 施内容 スケジュール、告知方法等 の確認
5	平成26年 3月14日 (土) 14:00～ 15:00	1時間	県営王ヶ崎 住宅集会所	奥平 原田 村上 小池 花井 寺田 河村	今年度の文化庁委託事業「地域防災力アップのための外国人市民を対象とした防災意識啓発事業」について	今年度の事業報告 受託事業総括



5. 取組についての報告

○取組1：防災意識啓発のための外国人市民を対象とした日本語講座

(1) 体制整備に向けた取組の目標

豊橋市内の外国人集住地区で外国人市民が防災無線等で流れる防災用語やフレーズ、テレビ・ラジオから流れる地震・台風情報をやさしい日本語で学び、災害弱者とならないようにする。
また、自助・共助・公助を理解し、学ぶことで、地域住民とともに助け合える体制を整備する。

(2) 取組内容

豊橋市やインターネットで入手できる防災関係のマニュアルや手引きから防災用語・災害情報
日ごろかどのように備えるかなどをやさしい日本語で学び、内容についてバイリンガルの講師から説明を受け、防災特有の日本語のフレーズを学ぶ。避難時に救護活動に参加できるよう、救護に必要な知識を日本語と母語で学ぶ。自らの備えとして、安否確認カードや外国人緊急カードの記入の仕方、活用法を学ぶ。

(3) 対象者

外国人市民が集住する地区にある県営住宅・市営住宅の外国人居住者

(4) 参加者の総数 45 人
出身・国籍別内訳

中国	人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	40人	ペルー	5人
ベトナム	人	フィリピン	人
ネパール	人	日本	人

(5) 開催時間数(回数) 60 時間 (全 56 回 各教室28回ずつ開催)

(6) 取組の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年 5月20日 19:30～ 20:30	1時間	東陽地区市民館	10人	ブラジル(10人)	防災用語を理解する	地震、津波、火災など地震のときに使う言葉の内容や意味をやさしい日本語を使って読む。その後母語による説明を受ける。	小田ルシア(講師)	中村アナパウラ 梶山エリカ
2	平成26年 5月22日 19:30～ 20:30	1時間	金田住宅集会所	8人	ブラジル(6人) ペルー(2人)	防災用語を理解する	地震、津波、火災など地震のときに使う言葉の内容や意味をやさしい日本語を使って読む。その後母語による説明を受ける。	小田ルシア(講師)	仲本カレン
3	平成26年 5月27日 19:30～ 20:30	1時間	多米校区市民館	15人	ブラジル(12人)	防災用語を理解する	地震、津波、火災など地震のときに使う言葉を書いたカードを渡し、それを見て読み、意味を答える	小田ルシア(講師)	中村アナパウラ 梶山エリカ
4	平成26年 5月29日 19:30～ 20:30	1時間	金田住宅集会所	10人	ブラジル(6人) ペルー(2人)	防災用語を理解する	地震、津波、火災など地震のときに使う言葉を書いたカードを渡し、それを見て読み、意味を答える	小田ルシア(講師)	仲本カレン
5	平成26年 6月3日 19:30～ 21:00	1.5時間	東陽地区市民館	7人	ブラジル(7人)	自治会について	生徒の住む市営住宅の自治会組織、年間行事、活動内容などを紹介。自治会に加入し、会費を払うこと、定期清掃に必ず出ることの必要性を指導。	河村 八千子(講師) 小田 ルシア	中村アナパウラ 梶山エリカ
6	平成26年 6月5日 19:30～ 21:30	2時間	金田住宅集会所	6人	ブラジル(4人) ペルー(2人)	自治会について	生徒の住む市営住宅の自治会組織、年間行事、活動内容などを紹介。自治会に加入し、会費を払うこと、定期清掃に必ず出ることの必要性を指導。	河村 八千子(講師) 小田 ルシア	仲本カレン

7	平成26年 6月10日 19:30～ 20:30	1時間	東陽地区市 民館	15人	ブラジル(15 人)	災害情報・地 震情報のフ レーズを理解 する	地震、津波、火災など地震のときに使うフレー ズの内容や意味をやさしい日本語を使って読 む。その後母語による説明を受ける。	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
8	平成26年 6月12日 19:30～ 20:30	1時間	金田住宅集 会所	10人	ブラジル(8 人) ペルー(2人)	災害情報・地 震情報のフ レーズを理解 する	地震、津波、火災など地震のときに使うフレー ズの内容や意味をやさしい日本語を使って読 む。その後母語による説明を受ける。	小田ルシア (講師)	仲本カレン
9	平成26年 6月17日 19:30～ 20:30	1時間	多米校区市 民館	16人	ブラジル(16 人)	災害情報・地 震情報のフ レーズを理解 する	地震、津波、火災など地震のときに使うフレー ズを講師言い、実際にどのように行動するか を答える。答え終わった後、母語で説明し、確 認を行う。	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
10	平成26年 6月19日 19:30～ 20:30	1時間	金田住宅集 会所	10人	ブラジル(8 人) ペルー(2人)	災害情報・地 震情報のフ レーズを理解 する	地震、津波、火災など地震のときに使うフレー ズを講師言い、実際にどのように行動するか を答える。答え終わった後、母語で説明し、確 認を行う。	小田ルシア (講師)	仲本カレン
11	平成26年 7月8日 19:30～ 21:00	1.5時 間	東陽地区市 民館	7人	ブラジル(7 人)	自治防災組 織について	生徒の住む市営住宅の自治防災組織、活動 内容などを豊橋自主防災組織活動マニュアル を使って紹介。活動を知ることが共助につな がることを説明	河村 八千 子(講師) 小田 ルシア	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
12	平成26年 7月10日 19:30～ 21:30	2時間	金田住宅集 会所	6人	ブラジル(6 人) ペルー(2人)	自治防災組 織について	生徒の住む市営住宅の自治防災組織、活動 内容などを豊橋自主防災組織活動マニュアル を使って紹介。活動を知ることが共助につな がることを説明	河村 八千 子(講師) 小田 ルシア	仲本カレン
13	平成26年 7月15日 19:30～ 20:30	1時間	多米校区市 民館	15人	ブラジル(15 人)	防災用語を理 解する	地震、津波、火災など地震のときに使う用語を 書く。漢字のルビを読みながら用語の漢字を 認識し、意味が思い浮かぶように母語で指導 する	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
14	平成26年 7月17日 19:30～ 20:30	1時間	金田住宅集 会所	10人	ブラジル(8 人) ペルー(2人)	防災用語を理 解する	地震、津波、火災など地震のときに使う用語を 書く。漢字のルビを読みながら用語の漢字を 認識し、意味が思い浮かぶように母語で指導 する	小田ルシア (講師)	仲本カレン
15	平成26年 7月29日 19:30～ 20:30	1時間	東陽地区市 民館	16人	ブラジル(16 人)	災害情報・地 震情報のフ レーズを理解 する	地震、津波、火災など地震のときに使うフレー ズを書いてみる。こちらも用語同様、漢字のル ビを読みながらどのような行動を起こすべきか を思い出しながら書く。書いた後、講師が再度 母語で確認をする。	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
16	平成26年 7月31日 19:30～ 20:30	1時間	金田住宅集 会所	9人	ブラジル(7 人) ペルー(2人)	災害情報・地 震情報のフ レーズを理解 する	地震、津波、火災など地震のときに使うフレー ズを書いてみる。こちらも用語同様、漢字のル ビを読みながらどのような行動を起こすべきか を思い出しながら書く。書いた後、講師が再度 母語で確認をする。	小田ルシア (講師)	仲本カレン
17	平成26年 8月5日 19:30～ 20:30	1時間	多米校区市 民館	15人	ブラジル(15 人)	防災用品を知 る。	非常持ち出し袋に入れるもの、避難の際に役 立つもの、家具の固定や備蓄に必要なものな どをイラストや写真で学ぶ。	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ

18	平成26年 8月7日 19:30～ 20:30	1時 間	金田住宅集 会所	10人	ブラジル(8 人) ペルー(2人)	防災用品を知 る。	非常持ち出し袋に入れるもの、避難の際に役 立つもの、家具の固定や備蓄に必要なものな どをイラストや写真で学ぶ。	小田ルシア (講師)	仲本カレン
19	平成26年 8月19日 19:30～ 20:30	1時 間	東陽地区市 民館	16人	ブラジル(16 人)	この回までの まとめ	フレーズや用語を書いたカードを渡し、呼んで 意味が言えるか確認する。地震が起きたとき にどうするかをクイズ形式にしたものに答え る。防災グッズの絵・写真を見て、それが何か を答える。	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
20	平成26年 8月21日 19:30～ 20:30	1時 間	金田住宅集 会所	9人	ブラジル(7 人) ペルー(2人)	この回までの まとめ	フレーズや用語を書いたカードを渡し、呼んで 意味が言えるか確認する。地震が起きたとき にどうするかをクイズ形式にしたものに答え る。防災グッズの絵・写真を見て、それが何か を答える。	小田ルシア (講師)	仲本カレン
21	平成26年 8月26日 19:30～ 21:00	1.5時 間	多米校区市 民館	8人	ブラジル(8 人)	自助について	「地震に自信を」「ふだんの対策」の部分を使っ て「自助」とは自分で自分を守ること、守るため に日ごろから何をしておけばよいかを学ぶ。ま た、豊橋市の防災の手引き(ポルトガル語版) を使い災害時緊急情報伝達システム (市内一斉通報用防災無線)や災害用伝言ダ イヤル利用方法、豊橋ほっとメールの登録の 仕方などを学ぶ。	河村 八千 子(講師) 小田 ルシア	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
22	平成26年 8月28日 19:30～ 21:30	2時 間	金田住宅集 会所	6人	ブラジル(4 人) ペルー(2人)	自助について	「地震に自信を」「ふだんの対策」の部分を使っ て「自助」とは自分で自分を守ること、守るため に日ごろから何をしておけばよいかを学ぶ。ま た、豊橋市の防災の手引き(ポルトガル語)を 使い災害時緊急情報伝達システム (市内一斉通報用防災無線)や災害用伝言ダ イヤル利用方法、豊橋ほっとメールの登録の 仕方などを学ぶ。	河村 八千 子(講師) 小田 ルシア	仲本カレン
23	平成26年 9月2日 19:30～ 20:30	1時 間	東陽地区市 民館	15人	ブラジル(15 人)	非常持ち出し 袋の・防災 グッズのリス トを作成しよう	「地震に自信を」「ふだんの対策」の部分を使っ て、非常持ち出し袋のチェック表を作成する。 防災グッズのリストは写真入りのプリントを利 用して作成する。いずれも、グッズや持ち出し 袋に入れるものの名称と用途を講師から再度 7母語で説明をする。	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
24	平成26年 9月4日 19:30～ 20:30	1時 間	金田住宅集 会所	10人	ブラジル(8 人) ペルー(2人)	非常持ち出し 袋の・防災 グッズのリス トを作成しよう	「地震に自信を」「ふだんの対策」の部分を使っ て、非常持ち出し袋のチェック表を作成する。 防災グッズのリストは写真入りのプリントを利 用して作成する。いずれも、グッズや持ち出し 袋に入れるものの名称と用途を講師から再度 7母語で説明をする。	小田ルシア (講師)	仲本カレン
25	平成26年 9月16日 19:30～ 20:30	1時 間	多米校区市 民館	16人	ブラジル(16 人)	防災メモ・避 難カードを作 っておこう	豊橋市防災の手引き(ポルトガル語版)、「地 震に自信を」を使い、避難所、家族の連絡先、 ばらばらになったときの家族の集合場所など を記入する。書きながら、避難所の確認や避 難カードに記載する内容の確認、家族の連絡 先の共有、家族の集合場所の設定の重要性 を学ぶ。	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
26	平成26年 9月18日 19:30～ 20:30	1時 間	金田住宅集 会所	11人	ブラジル(8 人) ペルー(3人)	防災メモ・避 難カードを作 っておこう	豊橋市防災の手引き(ポルトガル語版)、「地 震に自信を」を使い、避難所、家族の連絡先、 ばらばらになったときの家族の集合場所など を記入する。書きながら、避難所の確認や避 難カードに記載する内容の確認、家族の連絡 先の共有、家族の集合場所の設定の重要性 を学ぶ。	小田ルシア (講師)	仲本カレン
27	平成26年 9月25日 19:30～ 21:30	2時 間	東陽地区市 民館	12人	ブラジル(12 人)	防災訓練に ついて	「地震に自信を」「ふだんの対策」の部分を使っ て訓練に参加することの大切さについて説明 する。防災訓練にはどのような内容の訓練が 含まれているのかを具体的に説明する。あわ せて防災訓練へ積極的に参加するように呼び かける。	河村 八千 子(講師) 小田 ルシア	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
28	平成26年 9月30日 19:30～ 21:00	1.5時 間	金田住宅集 会所	10人	ブラジル(6 人) ペルー(2人)	防災訓練に ついて	「地震に自信を」「ふだんの対策」の部分を使っ て訓練に参加することの大切さについて説明 する。防災訓練にはどのような内容の訓練が 含まれているのかを具体的に説明する。あわ せて防災訓練へ積極的に参加するように呼び かける。	河村 八千 子(講師) 小田 ルシア	仲本カレン

29	平成26年 10月2日 19:30～ 20:30	1時間	金田住宅集 会所	17人	ブラジル(17 人)	命を守る5点 セットについ て	豊橋防災ボランティアコーディネーターの会作 成のプリントを使用し、非常持ち出し袋以外に 普段から枕もとにおいておくといいのを母語 で説明する。なぜ、置いておくといいのか、な んの役に立つのかもあわせて母語で説明す る。	小田ルシア (講師)	仲本カレン
30	平成26年 10月7日 19:30～ 20:30	1時間	多米校区市 民館	12人	ブラジル(9 人) ペルー(3人)	命を守る5点 セットについ て	豊橋防災ボランティアコーディネーターの会作 成のプリントを使用し、非常持ち出し袋以外に 普段から枕もとにおいておくといいのを母語 で説明する。なぜ、置いておくといいのか、な んの役に立つのかもあわせて母語で説明す る。	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
31	平成26年 10月9日 19:30～ 20:30	1時間	金田住宅集 会所	16人	ブラジル(16 人)	安否確認カー ドについて	防災訓練で配られる豊橋防災ボランティア コーディネーターの会作成の安否確認カード の内容と、利用方法について母語で説明をす る。ここで、自助について再度説明し、備える ことの大切さを学ぶ	小田ルシア (講師)	仲本カレン
32	平成26年 10月14日 19:30～ 20:30	1時間	多米校区市 民館	9人	ブラジル(7 人) ペルー(2人)	安否確認カー ドについて	防災訓練で配られる豊橋防災ボランティア コーディネーターの会作成の安否確認カード の内容と、利用方法について母語で説明をす る。ここで、自助について再度説明し、備える ことの大切さを学ぶ	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
33	平成26年 10月28日 19:30～ 21:00	1.5時間	東陽地区市 民館	8人	ブラジル(8 人)	共助・公助に ついて	豊橋市防災の手引き(ポルトガル語版)、「地 震に自信を」の「あなたを守る次の行動」を使 い、共助と公助について学ぶ。防災訓練を振り 返し、自助・共助の重要性を改めて確認し、自 分たちで何ができるかを考える。	河村 八千 子(講師) 小田 ルシア	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
34	平成26年 10月30日 19:30～ 21:30	2時間	金田住宅集 会所	9人	ブラジル(6 人) ペルー(3人)	共助・公助に ついて	豊橋市防災の手引き(ポルトガル語版)、「地 震に自信を」の「あなたを守る次の行動」を使 い、共助と公助について学ぶ。防災訓練を振り 返し、自助・共助の重要性を改めて確認し、自 分たちで何ができるかを考える。	河村 八千 子(講師) 小田 ルシア	仲本カレン
35	平成26年 11月4日 19:30～ 20:30	1時間	東陽地区市 民館	15人	ブラジル(15 人)	防災用語を理 解する	少し期間が開いたため、再度、地震、津波、火 災など地震のときに使う言葉を復習する。用 語を書いたカードを渡し、それを見て読み、意 味を答える	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
36	平成26年 11月6日 19:30～ 20:30	1時間	金田住宅集 会所	12人	ブラジル(10 人) ペルー(2人)	防災用語を理 解する	少し期間が開いたため、再度、地震、津波、火 災など地震のときに使う言葉を復習する。用 語を書いたカードを渡し、それを見て読み、意 味を答える	小田ルシア (講師)	仲本カレン
37	平成26年 11月13日 19:30～ 20:30	1時間	金田住宅集 会所	16人	ブラジル(10 人)	防災用語を理 解する	復習をかねて、地震、津波、火災など地震の ときに使う用語を書く。漢字のルビを読みなが ら用語の漢字を認識し、意味が思い浮かぶかど うか、答えられるかどうかを確認する。	小田ルシア (講師)	仲本カレン
38	平成26年 11月18日 19:30～ 21:00	1.5時間	多米校区市 民館	10人	ブラジル(10 人)	自治会への 参加について	入居説明会などで配られる資料を基に、自治 会活動について説明。組長・福組長や子ども 会などの役員になること、祭りや交流会のスタ ッフとして参加することが共助につながることを 説明。改めて自治会への積極的な参加を呼び かける。	河村 八千 子(講師) 小田 ルシア	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
39	平成26年 11月20日 19:30～ 21:30	2時間	金田住宅集 会所	7人	ブラジル(7 人)	自治会への 参加について	入居説明会などで配られる資料を基に、自治 会活動について説明。組長・福組長や子ども 会などの役員になること、祭りや交流会のスタ ッフとして参加することが共助につながることを 説明。改めて自治会への積極的な参加を呼び かける。	河村 八千 子(講師) 小田 ルシア	仲本カレン

40	平成26年 11月25日 19:30～ 20:30	1時 間	東陽地区市 民館	6人	ブラジル(12 人)	防災用語を理 解する	復習をかねて、地震、津波、火災など地震のとき に使う用語を書く。漢字のルビを読みながら 用語の漢字を認識し、意味が思い浮かぶかど うか、答えられるかどうかを、確認する。	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
41	平成26年 12月9日 19:30～ 20:30	1時 間	多米校区市 民館	13人	ブラジル(13 人)	外国人緊急 カードについ て	次の防災訓練で配布予定の長浜市作成の外国 人緊急カードの説明。何のために作られた か、どのように利用するのかなど使用説明書 を基にに説明を行う。	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
42	平成26年 12月11日 19:30～ 20:30	1時 間	金田住宅集 会所	11人	ブラジル(8 人) ペルー(3人)	外国人緊急 カードについ て	次の防災訓練で配布予定の長浜市作成の外国 人緊急カードの説明。何のために作られた か、どのように利用するのかなど使用説明書 を基にに説明を行う。	小田ルシア (講師)	仲本カレン
43	平成26年 12月16日 19:30～ 20:30	1時 間	東陽地区市 民館	9人	ブラジル(7 人) ペルー(3人)	防災訓練に ついて	「地震に自信を」「ふだんの対策」の部分を使っ て再度、訓練に参加することの大切さについ て説明する。次の防災訓練にはどのような内 容の訓練が含まれているのかを具体的に説 明する。あわせて防災訓練へ積極的に参加す るように呼びかける。	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
44	平成26年 12月18日 19:30～ 20:30	1時 間	金田住宅集 会所	9人	ブラジル(7 人) ペルー(2人)	防災訓練に ついて	「地震に自信を」「ふだんの対策」の部分を使っ て再度、訓練に参加することの大切さについ て説明する。次の防災訓練にはどのような内 容の訓練が含まれているのかを具体的に説 明する。あわせて防災訓練へ積極的に参加す るように呼びかける。	小田ルシア (講師)	仲本カレン
45	平成27年 1月8日 19:30～ 20:30	1時 間	金田住宅集 会所	10人	ブラジル(7 人) ペルー(3人)	外国人緊急 カードについ て	外国人緊急カードの記入説明を行う。避難所 の確認、国内外の緊急連絡先、大使館・領事 館の電話番号などを確認し記入を行う。日本 人に提示し助けを求めるもののため、記入は ひらがな、カタカナ、できるだけ漢字も使用して 記入するよう指導する。	小田ルシア (講師)	仲本カレン
46	平成27年 1月13日 19:30～ 20:30	1時 間	多米校区市 民館	15人	ブラジル(15 人)	外国人緊急 カードについ て	外国人緊急カードの記入説明を行う。避難所 の確認、国内外の緊急連絡先、大使館・領事 館の電話番号などを確認し記入を行う。日本 人に提示し助けを求めるもののため、記入は ひらがな、カタカナ、できるだけ漢字も使用して 記入するよう指導する。	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
47	平成27年 1月15日 19:30～ 20:30	1時 間	金田住宅集 会所	10人	ブラジル(7 人) ペルー(3人)	火災発生、そ のときどうす る？	地震の際、津波の心配のない地域では、火災 発生による被害が大きいことを説明し、火災が 起きたときにどのような行動をとるべきかを豊 橋市防災の手引き(ポルトガル語版)を利用し 説明する。あわせて消火器の説明をし、団地 内のどこにあるかを確認する。	小田ルシア (講師)	仲本カレン
48	平成27年 1月27日 19:30～ 20:30	1時 間	東陽地区市 民館	14人	ブラジル(14 人)	火災発生、そ のときどうす る？	地震の際、津波の心配のない地域では、火災 発生による被害が大きいことを説明し、火災が 起きたときにどのような行動をとるべきかを豊 橋市防災の手引き(ポルトガル語版)を利用し 説明する。あわせて消火器の説明をし、団地 内のどこにあるかを確認する。	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
49	平成27年 2月3日 19:30～ 20:30	1時 間	東陽地区市 民館	18人	ブラジル(18 人)	いざというとき の応急手当 について	防災訓練で指導のあった応急手当について豊 橋市防災の手引き(ポルトガル語版)と防災訓 練時に配布された資料を基に学ぶ。	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
50	平成27年 2月5日 19:30～ 20:30	1時 間	金田住宅集 会所	12人	ブラジル(7 人) ペルー(5人)	いざというとき の応急手当 について	防災訓練で指導のあった応急手当について豊 橋市防災の手引き(ポルトガル語版)と防災訓 練時に配布された資料を基に学ぶ。	小田ルシア (講師)	仲本カレン

51	平成27年 2月10日 19:30～ 20:30	1時 間	多米校区市 民館	12人	ブラジル(12 人)	AEDについ て	次のAED講習会・実地訓練のためにAEDにつ いて学ぶ。豊橋市防災の手引き(ポルトガル 語版)を基に心配蘇生法とAEDがどのようなと きに必要か、やり方、使い方を一通り説明す る。詳細を学ぶために次の訓練に積極的に参 加するよう呼びかける。	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
52	平成27年 2月12日 19:30～ 20:30	1時 間	金田住宅集 会所	11人	ブラジル(9 人) ペルー(2人)	AEDについ て	次のAED講習会・実地訓練のためにAEDにつ いて学ぶ。豊橋市防災の手引き(ポルトガル 語版)を基に心配蘇生法とAEDがどのようなと きに必要か、やり方、使い方を一通り説明す る。詳細を学ぶために次の訓練に積極的に参 加するよう呼びかける。	小田ルシア (講師)	仲本カレン
53	平成27年 3月3日 19:30～ 20:30	1時 間	東陽地区市 民館	20人	ブラジル(20 人)	地震について 被災者体験 談を聞く	地震の起きる仕組み、地震による被害、地震 が起きたときの身の振り方などを防災活動が メインのNPO職員から話を聞く。また、福島で 被災し、現在豊橋に避難している方の体験談 を聞く。	青木 裕子 (講師)伊原 康史(講師) 小田ルシア	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
54	平成27年 3月5日 19:30～ 20:30	1時 間	金田住宅集 会所	25人	ブラジル(20 人) ペルー(5人)	地震について 被災者体験 談を聞く	地震の起きる仕組み、地震による被害、地震 が起きたときの身の振り方などを防災活動が メインのNPO職員から話を聞く。また、福島で 被災し、現在豊橋に避難している方の体験談 を聞く。	青木 裕子 (講師)伊原 康史(講師) 小田ルシア	仲本カレン
55	平成27年 3月10日 19:30～2 1:00	1時 間	東陽地区市 民館	13人	ブラジル(13 人)	教室を振り 返って	ここまで学んできたことを振り返り、今後それ をどう活かしていくかを生徒たち自身で考え る。日本語教室での学習と地域住民とのかか わりの大切さについて説明する	小田ルシア (講師)	中村アナパウ ラ 梶山エリカ
56	平成27年 3月12日 19:30～ 20:30	1時 間	金田住宅集 会所	11人	ブラジル(9 人) ペルー(2人)	教室を振り 返って	ここまで学んできたことを振り返り、今後それ をどう活かしていくかを生徒たち自身で考え る。日本語教室での学習と地域住民とのかか わりの大切さについて説明する	小田ルシア (講師)	仲本カレン

(7) 参加者の募集方法
募集チラシは添付資料参照のこと

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

A: 防災用語の学習

＊まずはじめに、地震、津波、火災など地震のときに使う言葉の内容や意味をやさしい日本語を使って読む。
その後母語による説明を受け、用語を正しく理解するために、反復練習を繰り返した。
＊次に、地震、津波、火災など地震のときに使う用語を書く。漢字のルビを読みながら用語の漢字を
認識し、意味が思い浮かぶように母語で説明を受ける。すべてを覚えるのは大変だが、漢字の形から
覚えた用語を思い出せるように何度も書いて練習した。
＊カードは単語を読んで、意味が言えるようにするために、グループ学習で活用した。ゲーム感覚で
取り組めるように、カードを出したときに、どの生徒が一番多く言うことができたかを
ポイント制を取り入れて練習した。



B: 豊橋市防災の手引き、地震に自信を、などを活用した授業

＊市役所で手にしたり、自治会から回覧で配布されることで自宅にあるという生徒が数人いたが
きちんと目を通して呼んだ生徒は皆無であり、ほかは知らないという生徒が大半だった。
せっかく翻訳されているものなので、活用できるように内容を母語で説明し、利用するように
指導を行った。
＊具体的に携帯するもの、備えておくものに関しては、記憶に残るように丁寧に説明を行った
カードの記入などは、できるだけ日本語で記入できるようにまず漢字の練習をし、自力で記入
できるように根気よく指導を行った。



C:地震について学ぶ 被災者の体験談を聞く

*はじめに、NPO法人愛知ネットの方から「地震について」のお話を聞いた。
まず地震のメカニズムや、最近の地震の被害の状況を写真を使いながら説明。
その後、地震が来たらどう対処するか、避難時、避難後についてなどの話を聞いた。
*また、福島県富岡町から避難している方から、体験談をお聞きした。
地震が起きる前の異常な天候、地震が起きた際どのような状況だったか、家族と離れ離れになった後の行動、地震を経験して、今自分がしている備えについてなどを詳しく話していただいた。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

①災害自体を幼少時に体験しておらず、日本に来て初めて地震や台風などを経験した外国人住民たちは災害の内容や、その備えに関してまったく理解していなかったが、今回、日本語教室に参加することに災害について理解し、自助という形で備えをすることを学ぶきっかけを提供できた。
また、防災用語や防災グッズの名前、防災無線で流れるフレーズなどを練習することによって、まったくわからないという状況から、少しわかるという状況へと変化できる機会を提供できた。
②日本のTV番組をあまり見ない外国人住民たちにとって、災害情報や緊急地震速報をTVを通して情報収集することはなかなか難しい。しかし、豊橋市の配信する「豊橋ほっとメール」の母語配信を登録すれば正しい情報が手に入る。「豊橋市防災の手引き」(ポルトガル語版)などを使用して、登録の方法などを知って、自ら登録する機会を得ることができた。
③自治会活動をまだしっかりと理解できていない。また、有事の際に隣近所と助け合うという「顔の見える関係」もまだまだ作られない。しかし、今回、自治会活動や救護の方法などを日本語教室と防災訓練をリンクさせて学び、共助の大切さを認識してもらう機会を提供できた。
また、防災訓練や防災講習会に生徒が参加し、日本人と一緒に学ぶことによって、顔の見える関係とは何かについて考えるきっかけを提供することができた。

(10) 改善点について

*日本語教室に参加する住民は永住も視野に入れており、日本語学習意欲が非常に高い。しかし、参加していない住民はこのような学びの機会を得ることは皆無である。まず、住宅の入居説明会などで今回情報提供したほっとメールの登録、共助のために必要な自治会活動への参加、日本語学習の大切さ、日本語教室への参加呼びかけなどを自治会役員、日本語教室スタッフが通訳を介して呼びかける必要があると考える。
*今回防災の手引きのポルトガル語版を使用したけど、日本語をそのまま訳しているため、ボリュームもさることながら、語彙も難しいもの多かった。やさしい日本語で作った原稿をポルトガル語で翻訳すればもっと読みやすくわかりやすい手引きができるはずである。小学校高学年に配布する防災パンフレット等を参考にして、どのレベルの住民にも理解できる防災の手引きを作っていくことが、防災・減災につながると考える。
今年度の生徒は南米の国籍の住民のみだったが、現在豊橋市はフィリピン籍の住民が急増しておりフィリピン籍の住民にも対応できる体制作りが急務である。今後は、配布物の母語翻訳、住宅内での母語でのアナウンス、入居説明会の母語での実施、日本語教室での受け入れ体制など環境整備に努めるべきである。

○取組2:学んだこと活かそう！日本語講座特別編～防災訓練～

(1) 体制整備に向けた取組の目標

日本人の目標：
防災訓練を実施する中で、外国人住民の防災意識の変化を感じ取り、外国人住民の見方、外国人住民に対する理解に対する変化を生み出すこと、また、積極的に外国人住民との顔の見える関係作りに貢献するようになることを目標とする。

外国人の目標：
住民の一員として、日本人と協力して避難し、救助活動に協力できるようになること、防災訓練に積極的に参加し、自助・共助を理解し、実行できるようになることを目標とする。

(2) 取組内容

災害弱者となりうる外国人が多く居住し、入居時に自治会加入が前提となる市内の市営・県営住宅で防災訓練を実施する。訓練は、三角巾の使い方、簡易担架の作り方、消火器の使い方、などの説明を受け、実際に外国人住民が日本人住民とともに体験して学ぶ。
説明時には外国人住民が理解できるように通訳を配置する。

(3) 対象者

豊橋市内の外国人の集住地域にある市営・県営住宅の住民(外国人・日本人)

(4) 参加者の総数 317 人

出身・国籍別内訳

中国	2人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	42人	ペルー	
ベトナム	人	フィリピン	15人
ネパール	人	日本	258人

(5) 開催時間数(回数) 7 時間 (全 4 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成26年 10月5日 (日) 8:30～ 11:30	3時間	県営金田住宅集会所 石巻校区市民館 金田分館	160人	フィリピン(5人)、 ブラジル(14人)	防災訓練	・DVD「来るべき東海地震に備えて」鑑賞(ポルトガル語版・日本語の字幕つき) ・救護訓練(三角巾講習・簡易担架講習・ロープワーク)	豊橋防災ボランティア コーディネーターの会 尾崎 公江 神藤あや子	堀田泰治
2	平成26年 10月26日 (土) 8:30～ 10:00	1.5時間	県営王ヶ崎住宅集会所	80人	フィリピン(2人)、 ブラジル(11人) 中国(2人)	防災訓練	救護訓練(三角巾講習・簡易担架講習) 消火器訓練	豊橋防災ボランティア コーディネーターの会 尾崎 公江 神藤あや子	堀田泰治
3	平成26年 12月21日 (日) 10:00～ 11:30	1.5時間	東陽地区市民館 和室	17人	フィリピン(4人)、 ブラジル(6人)	防災訓練	救護訓練(三角巾講習・簡易担架講習・ロープワーク)	豊橋防災ボランティア コーディネーターの会 尾崎 公江 神藤あや子	堀田泰治
4	平成27年 2月14日 (土) 10:00～ 12:00	1時間	県営岩田団地集会所	60人	フィリピン(4人)、 ブラジル(11人)	防災訓練	・救護訓練(心配蘇生法・AED講習)	豊橋市中消防署 東分署職員	堀田泰治

(7) 参加者の募集方法

* 募集チラシは添付資料参照のこと(但し、柳原住宅防災訓練・岩田団地AED訓練実施分のみ。他はチラシを自治会が作成のため、データの提供が不可。)

* 自治会回覧板の利用、チラシを周辺の小中学校で全校配布、ブラジル食材店、コンビニなどに配布掲示して告知を行い、参加者を募集をした。

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)

A: 県営金田住宅防災訓練

* 台風の接近に伴い、若干規模を縮小して実施せざるを得ない状況ではあったが、多数の住民が参加した。

* 外国人住民にも参加しやすいように訓練を定期清掃日に設定し、ポルトガル語版の防災DVDの鑑賞と救護訓練という体験型の訓練内容にした。また、救護訓練には通訳を配置し、説明がきちんと理解できるように配慮した。

* 防災DVDは外国人住民が多く住む県営団地で作成されたもので、来る東海地震に備えるために必要な備蓄や家具の固定方法、災害情報の出され方、避難などに関する知識が得られる内容となっている。音声はポルトガル語で字幕スーパーが日本語という形で作られているため、外国人住民も通訳なしで理解することができた。

* 救護訓練は、講師のデモンストレーションに従って全員が体験する形で実施した。一定の時間が経過すると、ローテーションで3種類の講習を回るため、非常に効率よく体験することができた。



B: 県営王ヶ崎住宅防災訓練

* 住宅自治会の希望を受け、消火器訓練と救護訓練を実施した。ただ、実施できるスペースに限りがあるため、今回の救護訓練は三角巾講習と簡易担架講習を実施することになった。

* 訓練日は年に一度の団地祭りの日に設定したため、予想を上回る参加者数となった。

* 消火器訓練は水消火器を使用し、豊橋多文化共生・国際課の職員が講師となって実施した。

* ブラジル、ペルー、フィリピン、中国と外国人住民の国籍が多様であったが、日本語が理解できる住民の参加が多かったため、日本人講師の説明内容をおおむね理解することができた。



C: 県営岩田団地防災訓練

- * 防災講習会とセットで訓練を実施した。(訓練1時間 講習会1時間)
- * 防災訓練は、団地自治会の提案を受け、心肺蘇生法とAEDの操作体験の2種類の内容で実施した
- * 消防署の職員の説明を理解できるように、通訳を配置して実施した。
- * 当日は幅広い年齢層の方が参加。「もしもの時のために、ぜひ聞いておきたい」と参加者は熱心に訓練に参加していた。また、自分たちの仕事上、知識として必要だとして民生委員の方たちの参加もあった。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

- ①取り組みの目標である救助活動に参加するための救護の知識を学ぶ機会を提供できた。人数は多いとはいえないが、参加した外国人住民は非常に熱心に説明を聞き、積極的に体験に参加した。
- ②外国人と日本人がともに訓練に参加することで、顔の見える関係作りの大切さを日本人に認識してもらう機会の提供ができた。
- ③外国人住民が、日本語教室の講座で学んだ「共助」を訓練で体験することができた。

(10) 改善点について

- * 開催の時期の検討が必要であると感じた。台風の時期、冬の寒い時期の開催は実施内容の変更を余儀なくされたり、参加者数が見込めないことがある。防災訓練は年間計画を早めに立て準備期間もしっかりと取って実施していく必要がある。
- * 外国人参加者数を増やすためには工夫が必要である。今回は定期清掃や団地祭りなどをセットして訓練を実施した結果、多いとはいえないが外国人住民の参加が一定数得られた。炊き出し訓練と称して、BBQなどとセットで実施するなど、計画に柔軟性を持たせてもいいのではないかと考える。
- * 市内には、外国人住民とのコミュニケーションがうまく取れていない地域もまだまだ多い。「共助」には双方のコミュニケーションが必要であるため、顔の見える関係作りを進めていく必要がある。今回、防災訓練を実施した自治会とコミュニケーションが不足している地域の自治会がネットワークを作り、情報交換することが顔の見える関係作りの一助となると考える。

○取組3: 地域防災力アップのための豊橋市民を対象とした防災講習会

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- * 豊橋市内で実施されているさまざまな防災活動について知り、各地域にあった防災に関する必要な知識、救助活動に関する理解を深める。

(2) 取組内容

- * 阪神淡路大震災のドキュメンタリーDVDの鑑賞をし、その後、支援に行った方々の体験談を聞く。その後、台風で子どもを亡くした消防署員の実話や防災の教えとなる豊橋に伝わる昔話を聞く。話を聞いた後、自分たちができる備えや隣近所とどうかわっていくかについて考える。
- * 心肺蘇生法の実施やAEDの利用による救命活動とその重要性について学ぶ。

(3) 対象者

豊橋市内の外国人の集住地域にある市営・県営住宅の住民(外国人・日本人)

(4) 参加者の総数 83 人
出身・国籍別内訳

中国	3人	インドネシア	1人
韓国	1人	タイ	1人
ブラジル	16人	ペルー	2人
ベトナム	人	フィリピン	5人
ネパール	人	日本	54人

(5) 開催時間数(回数) 2 時間 (全 2 回)

(6) 取組の具体的内容

回数	開催日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師等氏名	補助者氏名
1	平成27年 1月31日 (土) 10:00～ 11:00	1時間	多米中町2区 集会所	23人	フィリピン(1 人)ブラジル (5人)ペルー (2人)インド ネシア(1人) タイ(1人)韓 国(1人)中国 (3人)	防災講習会	・阪神淡路大震災ドキュメンタリーDVD鑑賞 ・岩屋観音のお告げ(民話) 恐ろしい台風(実 話)を聞く	豊橋防災ボ ランティア コーディネ ーターの会 尾崎 公江 神藤あや子	寺田 康生 伊原 康史 堀田 泰治
2	平成27年 2月14日 (土)10: 00～12:0 0	1時間	県営岩田団 地集会所	60人	フィリピン(4 人)、ブラジル (11人)	防災講習会	・心肺蘇生法やAEDによる人命救助について ・岩田団地自治会の防災の取り組みについて	豊橋市中消 防署 東分署職員 小池真宏	寺田 康生 伊原 康史 堀田 泰治

(7) 参加者の募集方法
* 募集チラシは添付資料参照のこと(但し、柳原住宅防災訓練・岩田団地AED訓練実施分のみ。他はチラシを自治会が作成のため、データの提供が不可。)
* 自治会回覧板の利用、チラシを周辺の小中学校で全校配布、ブラジル食材店、コンビニなどに配布掲示して告知を行い、参加者を募集をした。

(8) 特徴的な活動風景(2～3回分)
A:第1回 防災講習会(実施会場 市営柳原住宅内)
* 市営柳原住宅周辺の地形となるべく近い事例として、阪神淡路大震災のドキュメンタリーDVDを選択し、上映した。上映後、支援活動に行った方から倒壊した家屋の下敷きになって命を落とした方、大規模な火災の発生で亡くなった方の話を聞き、地震は津波だけでなく、火災によって被害が大きくなることを学んだ。
* 外国人住民にもわかりやすい内容での講習実施のために、小学生向けに作られた民話や実話の紙芝居を使って、津波や台風接近時の避難について学んだ。



B:第2回 防災講習会(実施会場 県営岩田団地内)
* 豊橋中消防署心配蘇生法・AED講習の講師の方から、災害時だけでなく、事故などで心停止のけが人がいたとき、救急車が到着する前に心臓マッサージやAEDを使った心肺蘇生を行うことが救命につながるという説明を受けた。心肺蘇生法の手順を身につけることの重要性を改めて認識した。
* 次に、心臓マッサージの方法とAEDの使用法、使用時の注意事項の説明を受けた。
外国人住民に対しては、説明内容の通訳を行った。
* 最後に元岩田団地自治会長の小池氏から防災に関する岩田団地自治会の取り組みについてお話を聞いた。



(9) 取組の目標の達成状況・成果

- ①取り組みの目標である地域のさまざまな防災活動について知り、各自の居住地域にあった防災に必要な知識を学ぶ機会を提供できた。
- ②地震による津波の怖さだけでなく、火災や台風の被害についても認識をし、日ごろの備えについて確認できる機会を提供できた。
- ③心肺蘇生法やAEDの操作方法の学びの中から、「共助」が災害時だけでないことを知る機会を提供できた。

(10) 改善点について

* 参加した住民からは内容について一定の評価を得ることができた。特に、外国人住民からは説明の理解もでき、参加してよかったとの声が聞かれた。しかし、今回外国人集住地区から参加可能な会場を設定したにもかかわらず、外国人住民の参加数が少なかった。「訓練だけでなく講習会も参加する」というところまで、外国人住民の危機管理意識の底上げが必要であると考えます。

6. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的

豊橋市内の外国人集住地区で外国人が参加できる防災用語・地震情報の文章などを学ぶための日本語教室や日本に多い「地震・津波・台風」などに対し、もともと住んでいた国での被災経験の少ない外国人市民に対して防災訓練や防災講習会を実施する。また、この事業を通して情報提供、防災教育を行うことで、外国人市民の防災意識を高めるとともに暮らす住民として日本人市民との「顔の見える関係」作りを行うことを目的とする。さらに、「顔の見える関係」作りと同時に、自治会や自主防災会の機能や役割を日本人・外国人がともに理解をし、訓練講習会の参加だけでなく自治会や自主防災会の活動にも積極的に参加するように促すことにより、地域の人的資源の掘り起こしと地域力の向上を図ることを目的とする。

(2) 事業目的の達成状況

- ①日本語教室では災害だけでなく、日常生活で活用できる日本語を学ぶ機会を提供できた。また、自治会活動や救護の方法などを日本語教室と防災訓練をリンクさせて学び、「共助」に必要な日本語、地域とつながるために必要な日本語も学ぶ機会を提供できた。
- ②豊橋市で配布している防災の手引きの活用し、豊橋市の配信する「豊橋ほっとメール」の母語配信を登録すれば情報が手に入ることを紹介した。また、市役所、国際交流協会、自治会からも情報を入手できることを紹介し、自らの情報収集力を上げることが防災につながることを、そのために、まず、自治会に積極的にかかわることの必要性を理解してもらうことができた。
- ③日本人にとって当たり前のような言葉や文章であっても、日本語が母語ではない外国人住民にとっては理解することが非常に難しいということを、日本人住民、自治会役員の方々に改めて認識していただく機会を提供できた。外国人集住地域では「やさしい日本語」を利用した表記をもっと進めていくが地域防災につながっていくことを理解していただいた。
- ④今回は豊橋市多文化共生国際課、防災危機管理課、民間防災活動支援団体と連携し企画を行った。行政からは「豊橋防災の手引のポルトガル語版」、の提供を受け、それを主たる教材として日本語教室を行った。民間防災支援団体である豊橋防災ボランティアネットワークは、地域の実状から外国人向けのプログラムの開発、講習の多言語化を模索していた。今回この事業に協力し参加することで、団体が今後予定している外国人集住地域向けの講習プログラムの作成への糸口が見えたとの報告を受けた。また、今回民間防災活動支援団体を外国人が集住する市営・県営団地自治会と繋がれたことで、今後連携して防災訓練の実施をしていくこととなり、訓練内容の見直しと充実を図れることとなった。

(3) 地域における事業の効果、成果

東日本大震災の後、帰国した外国人市民もあったが、定住・永住を考える市民は今もなお数多く暮らしている。しかし、そのレベルでもまだまだ日本語能力がまだ十分とは言えず有事の際に日本人とコミュニケーションが取り、協力し合える状況にあるとはいいがたい。

また、日本人と外国人の交流があり、外国人市民が自治会活動にも参加している地域と、未だ全く受け入れ態勢のできていない地域があり、同じ市内でありながら非常にその差が大きいまま今日に至っているのが実情である。

しかし、今回日本語教室で学んだことを使って日本人住民とともに訓練に参加することで、以前より日本人住民の外国人住民に対する見方が変わり、少しずつ信頼関係が生まれてきていると見受けられる。日本語教室に参加した外国人住民は、自治会の依頼に応じて通訳などの業務に携わった。また、実施の告知のためにチラシなどをポスティングしたり、他の外国人住民宅へ持参し、訓練への呼びかけも行った。このような協力行動に対して一定の評価が得られたのではないかと考える。地域差に関しては、運営委員会や防災会議などで実施報告や情報交換を行うことで、各地域の実状を知り、それをフィードバックすることで、今後徐々に埋まっていく兆しが見えてきている。地域に密着した日本語教室の実施方法に工夫をしていくことで、住民の意識を変え、地域を変えていくことができるということが実証できた。今後もこれを継続し、外国人に対する意識向上につながる地域密着型の日本語教育を実践していきたい。

(4) 改善点、今後の課題について

今回の事業で、それぞれの国籍で地震の経験や台風などの暴風雨災害などの経験がまったく違い危機意識の違いもさることながら、日本で被災することに対するイメージができていないことがわかった。今後、防災意識啓発のためには国籍にあわせて、防災に対する取り組み内容を考えていく必要がある。

i 現状

* 現在、豊橋に住むブラジル人・ペルー人はおよそ7,400人と、ここ数年減少しているが、フィリピン人はフィリピン人は2,200人と、増加傾向にある。市の防災の手引きやガイドマップなどのポルトガル語版スペイン語版は作成され、南米の住民の手元に届いているが、タガログ語で翻訳されたものはまだ作成されていない。

* 日本人はもしもの時には外国人には期待できない、日本人同士でなければ「共助」は難しいと考えている。

* 自治会には南米系の言語と日本語ができる住民が協力しているところとそうでないところがある。タガログ語においても同様である。そのため防災無線を使った訓練などの呼びかけが、母語で行えず自治会の防災訓練の告知のチラシを見逃してしまった外国人住民は訓練に参加できていない。

ii 今後の課題

* 国籍とその国民性に合わせた防災意識啓発に役立つツールの開発、防災訓練の内容に工夫をして実施していくことが必要である。

* 自治会は外国人が多く住む他の自治体の防災への取り組みを知識として知ることが大切である。行政などを通して、他県、他市の自治会の取り組みなどの情報収集に努めるべきである。

* 外国人の集住地域では自治会と外国人住民との橋渡し役を増やしていくために、役員の外国人比率を高めていくことが必要である。

* 外国人住民を地域の力に育てていけるような環境づくりを行政も自治会とともに考え、実行していかなければならない。

iii 今後の活動予定

・日本語教室を使って、定期的に防災勉強会を実施し、生徒とともに訓練に参加する。

・今年度やったことを再認識できるような内容で防災訓練や防災講習会を実施する

・外国人住民の国籍や国民性に合わせた非常持ち出し袋や防災グッズなどをつくる

ワークショップを開催する

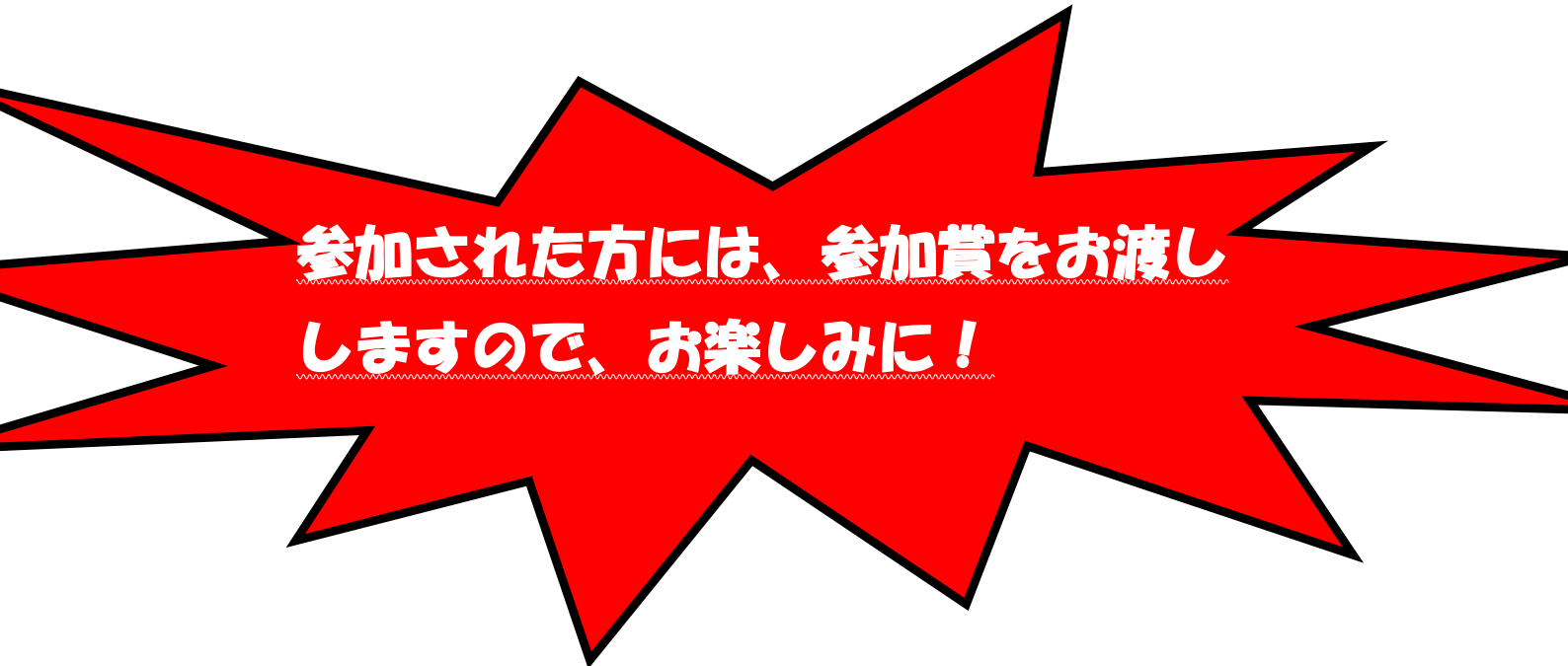
柳原住宅防災訓練のお知らせ！

豊橋市役所多文化共生・国際課との協働で、在住外国人の方を含めた防災訓練を行います。

日時は、12月21日（日）10時00分から、場所は東陽地区市民館です。

1時間ほどで終了したいと思います。

外国籍の方のたくさんの参加をお願いします！



**参加された方には、参加賞をお渡し
しますので、お楽しみに！**

多米中町二区・三区自治会
豊橋市役所多文化共生・国際課

柳原住宅防災訓練のお知らせ！

AVISO SOBRE O TREINAMENTO DE PREVENÇÃO

CONTRA DESASTRES NATURAIS

SERÁ REALIZADO COM A COLABORAÇÃO DO DEPARTAMENTO MULTICULTURAL E INTERNACIONAL, UM TREINAMENTO DE PREVENÇÃO CONTRA DESASTRES NATURAIS, JUNTO COM OS MORADORES ESTRANGEIROS.

PEDIMOS A PARTICIPAÇÃO DO MAIOR NÚMERO DOS SENHORES ESTRANGEIROS.

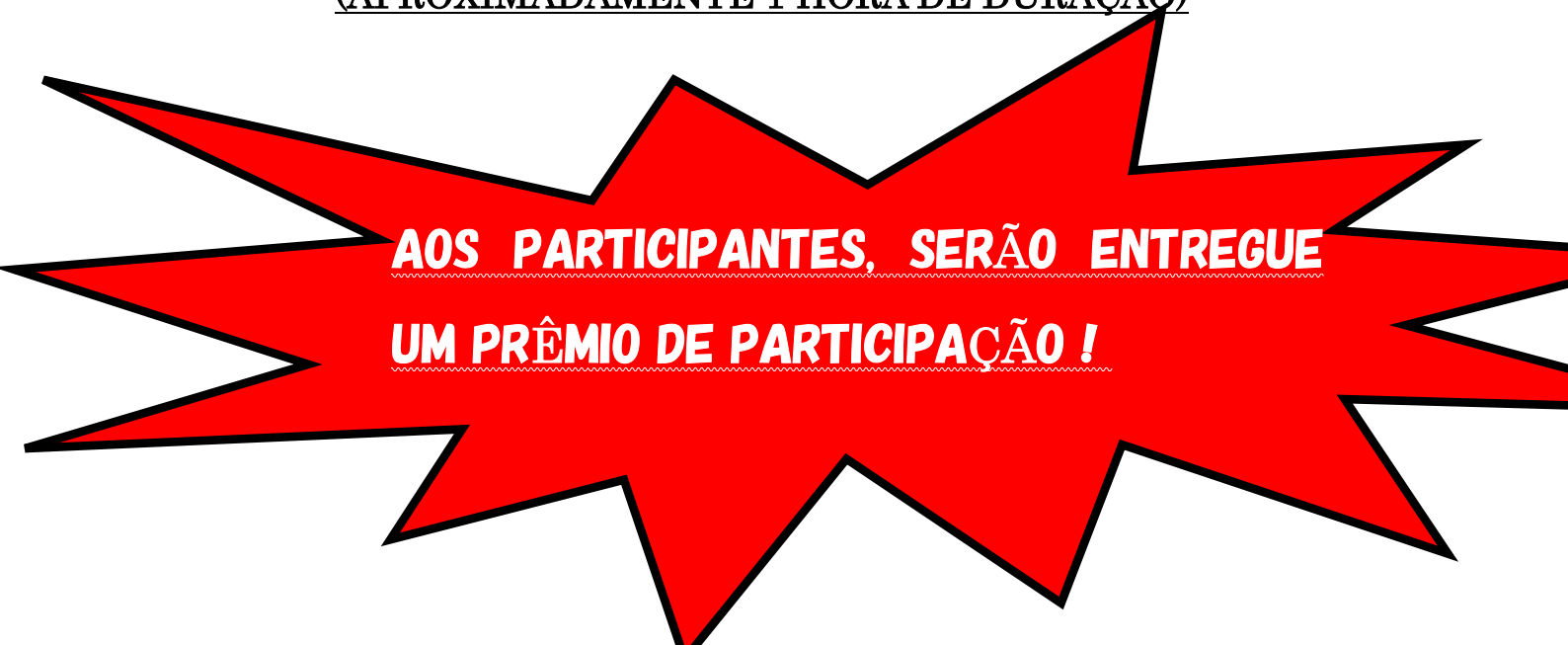
LOCAL : SHIMINKAN DO DISTRITO DE TOYO

OU SEJA (TAME KOEN/ ANTIGO ROKUGO KOEN)

DATA E HORÁRIO : DIA 21 DE DEZEMBRO DE 2014

APARTIR DAS 10 : 00 H

(APROXIMADAMENTE 1 HORA DE DURAÇÃO)



AOS PARTICIPANTES, SERÃO ENTREGUE
UM PRÊMIO DE PARTICIPAÇÃO !

ASSOCIAÇÃO DE MORADORES DO YANAGUIHARA DANCHI

TAME NAKA MACHI

NIKU SANKU

DEPARTAMENTO INTERNACIONAL E MULTICULTURAL DO MUNICÍPIO DE TOYOHASHI

防災訓練のお知らせ！

豊橋市役所多文化共生・国際課との協働で、防災講習会を行います。

阪神淡路大震災の被害の様子をビデオで見たり、防災について紙芝居で学びます。日時は、1月31日（土） 午前10時から、場所は2区集会所です。

1時間ほどで終了したいと思います。

とてもためになる紙芝居と防災に役立つビデオです。

皆様のご参加、お待ちしております！



参加された方には、参加賞をお渡ししますので、楽しみに！

AVISO SOBRE O TREINAMENTO DE PREVENÇÃO CONTRA DESASTRES NATURAIS

SERÁ REALIZADO COM A COLABORAÇÃO DO DEPARTAMENTO MULTICULTURAL E INTERNACIONAL, UMA PALESTRA SOBRE PREVENÇÃO CONTRA DESASTRES NATURAIS.

APRENDER A RESPEITO DE PREVENÇÃO DE DESASTRES ATRAVÉS DE UM TEATRINHO DE PAPEL E TAMBÉM, PASSAREMOS UM VÍDEO MOSTRANDO A SITUAÇÃO DOS DANOS CAUSADOS, PELO GRANDE TERREMOTO DE HANSHIN AWAJI.

LOCAL : SALA DE REUNIÃO DO YANAGIHARA DANCHI 2-KU

DATA E HORÁRIO : DIA 31 DE JANEIRO DE 2015 (SÁBADO)

APARTIR DAS 10 : 00 H DA MANHÃ
(COM 1 HORA DE DURAÇÃO)

*PEDIMOS A PARTICIPAÇÃO DO MAIOR NÚMERO DOS SENHORES
MORADORES ESTRANGEIROS DO DISTRÍTO ESCOLAR DE TAME.*

AOS PARTICIPANTES, SERÃO ENTREGUE UM PRÊMIO DE PARTICIPAÇÃO !

CONTAMOS COM A SUA PARTICIPAÇÃO



ASSOCIAÇÃO DE MORADORES DO YANAGUIHARA DANCHI
TAME NAKA MACHI NIKU SANKU

AULAS DE JAPONÊS



E Hora da decisão ! さあ、始めよう !

Faça o curso de japonês no Kanada Jutaku !

金田住宅で日本語を学ぼう !

- Não perca esta oportunidade!!
- Aprenda o japonês de forma dinâmica e descontraída.
勉強したくなる環境。
- Aprenda a lingua e conheça a cultura japonesa para a prevenção de desastres.
日本語を覚えながら、日本の文化や風習、防災についても覚えよう。
- Vários níveis de leitura, escrita e conversação.
あなたにあったレベルの読み、書き、会話。
- Assistência geral relativo a teste de Proficiência da Lingua Japonesa. 日本語能力試験の勉強や手続きのサポートをします。

Dias de aulas: Todas as terças-feira e quintas-feira

日にち: 毎週、火曜日と木曜日

Horário: 19:30 hrs às 21:30 hrs.

時間: 19:30 ~ 21:30

Local: Shukaijo(sala de reunião)do Kanada Jutaku

場所: 金田住宅集会場

Custo: 500 yens por mês

費用: 月 500 円

【問い合わせ先】^{と あわ さき}NPO法人 ^{ほうじん}フロンティアとよはし
Contatos: NPO Frontier Toyohashi

河村
Kawamura:090-3950-3146

AULAS DE JAPONÊS



E Hora da decisão ! さあ、始めよう !

Faça o curso de japonês no Yanagihara Jutaku !

柳原住宅で日本語を学ぼう !

- Não perca esta oportunidade!!
- Aprenda o japonês de forma dinâmica e descontraída.
勉強したくなる環境。
- Aprenda a lingua e conheça a cultura japonesa a prevenção de desastres.
日本語を覚えながら、日本の文化や風習、防災についても覚えよう。
- Vários níveis de leitura, escrita e conversação.
あなたにあったレベルの読み、書き、会話。
- Assistência geral relativo a teste de Proficiência da Lingua Japonesa. 日本語能力試験の勉強や手続きのサポートをします。

Dias de aulas: Todas as terças-feira e quintas-feira

日にち: 毎週、火曜日と木曜日

Horário: 19:30 hrs às 21:00 hrs.

時間: 19:30 ~ 21:00

Local: TOYOTIKU SIMINKAN

場所: 東陽地区市民館

Custo: 800 yens por mês

費用: 月 800 円

【問い合わせ先】NPO法人 フロンティアとよはし
Contatos: NPO Frontier Toyohashi

河村
Kawamura: 090-3950-3146

いわただんち みな
岩田団地の皆さまへ

NP^{ほうじん}O法人 フロンティアとよはしが「AED の
こうしゅうかい
講習会」をやります



もし、みなさんの目の前で知り合いの人が、

突然心臓の病気で倒れたら・・・

そんな時、命を助けるための器具「AED」が使える、その

人の命を助けることができます。そこで、今回「AED」の使い

方を勉強する会を実施します！みなさんのご参加、お待ちしております！

講習会実施日： 2015年2月14日(土)

実施時間： 午前10時00分～午前11時00分まで(プレスクール終了後)

会場： 県営岩田団地 集会所

内容： AEDの使い方の講習・実習

対象： 岩田団地に住む日本人・外国人住民

費用： 無料

【問い合わせ先】 フロンティアとよはし 河村まで 090-3950-3146